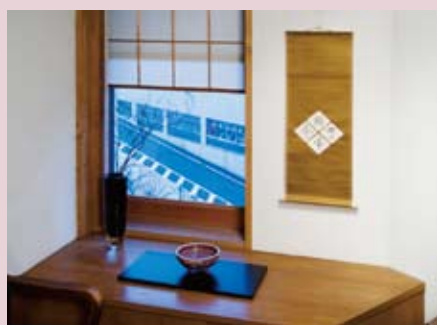




オブジェになった気分で
「ハイ! ポーズ!」

「第2回白聖芸術祭」は、野口田鶴子さん(S40卒)の宮沢賢治の朗読も行われ、大盛況裡に開催されました。今年度も同じ時期に白聖芸術祭の開催が予定されています。会場でまた新たな交流の場が広がることでしょう。またお会いできる事を楽しみにしております。



◀ 山中雅彦
(S49卒)
〈静物〉

▶ 三浦千波
(S50卒)
〈風景〉



▶ 伊藤馨一
(S52卒)
〈夜のじま〉

▶ 太田正孝
(太田督也/S25卒)
〈宙(そら)
鍛黒味銅香炉〉



▶ 木村克子 (S29卒) 〈黄色い帽子〉



▲松本雄 (S30卒)
〈山桜(長野)〉



▲伊東明子 (S50卒) 〈木漏れ日〉



▲福田隆 (S49卒) 〈秋の乗鞍岳 偲ぶ池〉



▲神尾厚 (S30卒)
〈山口観音堂(所沢・埼玉)〉



▲一戸裕子 (S43卒) 〈柿〉



▲三宅保 (S34卒) 〈天神平の秋〉



▲南館英孝 (S36卒)
〈デュルビュイの朝焼け〉



▲千葉祐治 (S41卒・鎌倉彫)
〈香合〉



▲武田夏実 (武田素虹/S53卒)
〈五臓六腑〉



▲伊藤公雄 (S34卒) 〈静物〉



▲佐々木美枝子 (S43卒) 〈白堊五人衆〉



▲早坂光平 (S30卒)
〈句の書〉



▲毛利洋子 (S41卒) 〈チャペルのある風景〉



▲坂上洋子(S40卒)〈願請延年〉



▲小野寺長道(S28卒)〈妙高初冠雪〉



▲玉澤健児(S43卒)
〈Mr.モルジブ・ナポレオン〉



▲及川謙(S61卒)〈Siam・猫〉



▲村野井徹夫(S35卒)〈秋日和〉



▲大澤邦雄(S43卒・写真と五行歌)
〈秋の日の思い出〉



たくさん来場された(受付)



▲渡部英俊(S53卒)〈創生〉



宮澤賢治の詩と、五行歌の朗読をする
野口田鶴子さん(S40卒)

細い谷間の木細工集落
どこまでも
黄葉の山また山
あそこは「風の又三郎」の学校だ。
江刺の道に初雪が舞う。
(八十若・S22卒 小川達彦)

表に出ると:
雨上がりの風の香り
ふと甦える
遠い昔の
古里の小道
(だいてんち・S36卒 星邦彦)

晴れた
空
海の青
粒子になって
飛んでみたい
(三浦千波・S50卒)

日本最北端の岬
朝霧にかい間見る望郷の地
空腹で疲れ切った
赤ん坊の泣き声が
波間に響く
(伊奈裕・S38卒 稲垣裕雄)

車窓の白い景色に
ほっとする なつかしさ
古里が近づいて
何か力が湧いて
来た
(光平・S31卒 早坂光平)

白堊芸術祭に掲出された
五行歌作品

五行歌の展示コーナー



車窓から
振り返れば
いつまでも
追いかけてくる
ふるさとの山
(山田武秋・S42卒)

ちよっとしたイベントとして
通り過ぎたはずの『還暦』が
急に重みが増したのには
ふるさとの山に
向かったせいだろうか
(ろろちち・S42卒 三宮まゆみ)



野口田鶴子さんの朗読は、白堊芸術祭開催初日の
12月2日、15時と17時の2回(各40分)行われた

▶ 浅沼榮一 (浅沼二道/S27卒) (同中見異(古文))



▲ 佐藤法雄 (佐藤容斎/S50卒)
《楽山(がくざん)》



▲ 菊池雅子 (S44卒) 《悠久》



▲ 及川昭伍 (S25卒)
《釣窓三足鉢》



▲ 三浦千江美 (S53卒)
《真而静(しんにしてせい)》



▲ 池上敦子 (S50卒)
《人間到處有青山》



▲ 板倉洋子 (S28卒) 《ボマルッオの壁》



▲ 渡部恵子 (萌園翠/S53卒) 《天啓》



▶ 橋本時浩 (S53卒)
《赤い森》



▲ 高橋正美 (S31卒) 《風と帆船》



▲ 辻田よね子 (辻やのか/S55卒)
《晴れわたる日
Sunny Day in Hawaii》



▲ 田部井恭子 (S34卒) 《金持ちラグナ》